

日本 IP・コンテンツの中国展開を推し進めるアクセスブライトが
中国の国家戦略を綴った「互联网+：国家战略行动路线图」にて
「汎娛樂」を実践する業界の先駆者として掲載されました

日本 IP・コンテンツの中国展開を推し進めるアクセスブライト（中国名：通耀、本社所在地：東京都港区南麻布 3-20-1 麻布グリーンテラス 5 階、代表取締役：柏口之宏）は、中国の国家戦略を解説する話題の本「互联网+：国家战略行动路线图（※1）」に「汎娛樂（※2）」を実践する業界の先駆者として掲載されました。

本書は、2015 年 5 月末に発売されたテンセント（※3）の最高経営責任者（CEO）である馬化騰氏（以下、馬氏）の初の著書で、国家戦略や背景などを馬氏自身の経験を交えて詳しく分析したものです。2015 年の全国人民代表大会（全人代）で、「互聯網+（※4）」は李克強首相からも提唱されています。

アクセスブライトは、2013 年 2 月から日本の優れた IP・コンテンツを軸とし、ゲーム、アニメ、グッズ、ユーザーコミュニティなど多領域でエンターテインメントを融合、展開し、中国国内でのブランドを築いてまいりました。本書内で、アクセスブライトは「互联网+」のキーワードの一つである「汎娛樂」の中国国内での先駆者として小米(Xiaomi、シャオミ)、アリババ(Alibaba)、百度(Baidu)、360、华谊 (Huayi Brothers) などインターネット及びエンターテインメント業界最大規模の企業と並んで位置づけられています。

アクセスブライトは、今後も、国家戦略「互联网+」の「汎娛樂」を実践する一企業として中国でのプレゼンスを高めていき、日本のコンテンツ業界への貢献に取り組んでまいります。

※1 日本訳）インターネットプラス：国家戦略行動ロードマップ
中国で話題の本（右記参照）



※2 日本訳）多領域エンターテインメント

「汎娛樂（多領域エンターテインメント）」とは 2011 年頃、テンセントの副総裁程武が提起した概念で、インターネットにおける多領域の共生を基礎に、優れた IP（知的財産）のファン経済を創出すること。核心となる IP は優れたストーリーや、キャラクターなど多くのユーザーが夢中になるようなものを意味する。



※3 テンセント

中国語名称で腾讯控股有限公司（略称：騰訊=Tengxun、タンシュン）と呼ばれる中国広東省深圳に本拠を置く持ち株会社で、インターネット関連の子会社を通してソーシャル・ネットワーキング・サービス、インスタントメッセージャー、Web ホスティングサービスなどを提供している。人気オンラインゲーム「リーグ・オブ・レジェンズ」を運営する米ライオット・ゲームズ社、及び Unreal Engine で知られる米 Epic Games 社の親会社でもある。

※4 日本訳）インターネットプラス

クラウドコンピューティングやビッグデータを、今までにインターネットがあまり普及していない業界にも浸透させて、個人や社会を管理し、より良い社会を創ろう、という考え方。インターネットプラスを実践する企業ないしは政府が、6億5000万人程度のインターネットユーザー情報（ビッグデータ）を活かし運営に役立てている。李克強首相が2015年全国人民代表大会（全人代）の開幕式で行った政府活動報告に盛り込まれ、「インターネットプラスが国家戦略となった」とメディアには分析されている。

<株式会社アクセスブライト 会社概要>

会社名：株式会社アクセスブライト

本社所在地：〒106-0047 東京都港区南麻布 3-20-1 麻布グリーンテラス 5階

設立：2011年9月

代表者：柏口之宏

主な事業内容：中国におけるスマートフォンゲームの企画・開発・配信・運営、アニメのテレビ放送・インターネット配信、グッズ制作・販売

URL（日本）：<http://www.accessbright.com/>

URL（中国）：<http://www.tyyouxi.com/>